

網走工業が安全衛生大会 一丸となり無災害継続

工事の流れ把握し作業進めて

つ「写真」。前年度は三月いっぱい工事があった。ほぼ毎日、現場に足を運んだが、懸念していた冬型の

事故もなく終えられたことは、皆さんのおかげ」とあらためて感謝の意を示した。

また、「工事

にも流れがある。リズムやテンポを理解しなければ、現場が中断してしまうことがある。

オーケストラなどと同じで、工事にも攻めどころがある。現場担当者の指示を理解し、流れを把握してほしい」と説明した。

その上で、「流れを止めることは事故を誘発する。一歩間違えれば、大きな事故につながる」と強調。「あのオペレーターなら大丈夫だろう」といった認識

は一新してほしい」とし、昨年同様、一丸となって無事故・無災害を達成することを求めた。

続いて、網走警察署の川口忠義交通課長が「交通安全について、日本キヤタピラー道支社網走出張所の水野順友氏が「建設機械について」と題して講話。このあと、従業員を代表して山崎宏晃氏が労働安全決意宣言し、本年度の無事故・無災害を誓い合った。

【網走発】網走工業(株)網走、箕谷俊一社長は九日、網走市内オホーツク文化交流センターで二十七年安全衛生大会を開催した。同社職員ら約三十人が参加。交通安全などに関する講話を通して、社員一丸となって無事故・無災害の達成を誓い合った。

冒頭、箕谷社長があいさ

